

令和6年度 加古川市ケータイ・スマホアンケート調査結果について

1 調査概要

(1) 調査目的

「加古川市ケータイ・スマホ等の利用に係るアンケート調査」を実施し、児童生徒と保護者のインターネット環境における意識を調査するとともに、トラブル未然防止のための啓発活動の一端を担う。

(2) 調査内容 ※本調査は隔年で実施

①加古川市ケータイ・スマホ等の利用に係るアンケート調査（児童生徒用）

②加古川市ケータイ・スマホ等の利用に係るアンケート調査（保護者用）

(3) 調査対象

小学校5年生～中学校3年生（児童生徒・保護者）

義務教育学校5年生～9年生（児童生徒・保護者）

(4) 調査方法

児童生徒はChromebook、保護者はGoogle フォームにて回答

(5) 調査期間

令和6年5月から令和6年6月

(6) 回答数及び回答率

児童生徒	回答数(人)	回答率
小学校5年生・義務教育学校5年生	2,021	93.3%
小学校6年生・義務教育学校6年生	2,089	90.6%
中学校1年生・義務教育学校7年生	1,643	71.4%
中学校2年生・義務教育学校8年生	1,916	84.5%
中学校3年生・義務教育学校9年生	1,968	83.9%
総数	9,637	84.6%

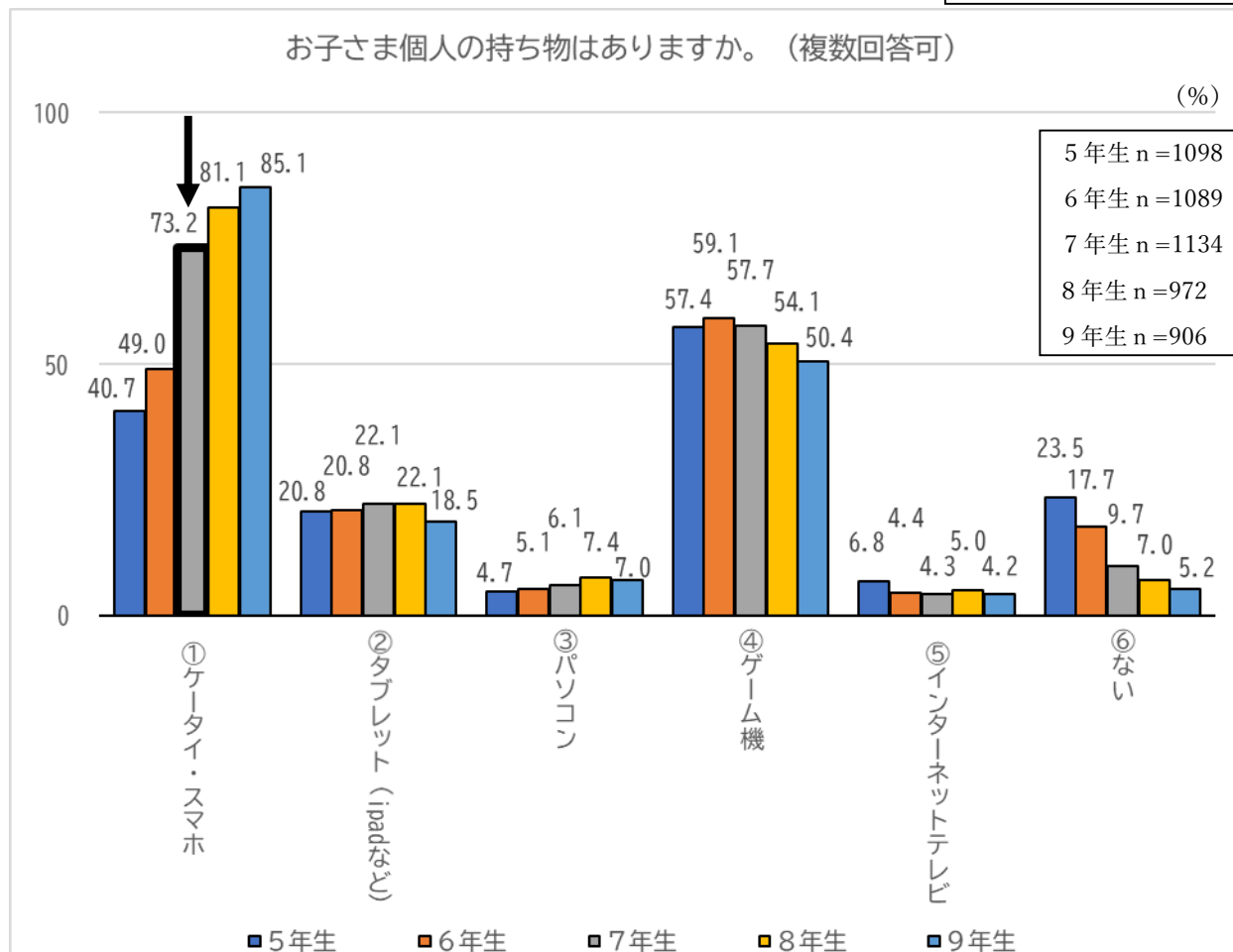
保護者	回答数(人)	回答率
小学校5年生・義務教育学校5年生	1,098	50.7%
小学校6年生・義務教育学校6年生	1,089	47.2%
中学校1年生・義務教育学校7年生	1,134	49.3%
中学校2年生・義務教育学校8年生	972	42.9%
中学校3年生・義務教育学校9年生	906	38.6%
総数	5,199	45.7%

※本頁以降は、5年生～9年生と表示する。

2 調査結果

(1) 児童生徒の主なインターネット機器の所持率について（複数回答）

保護者用アンケート結果



- ・児童生徒のケータイ・スマホの所持率が、7年生で初めて70%を超える。
- ・ケータイ・スマホの所持率は、7年生以降大きく増加している。
- ・児童生徒が所持しているインターネット機器は、スマートフォンとゲーム機が主である。
- ・5～6年生は、ケータイ・スマホよりゲーム機の所持率が高くなっている。

<参考>

令和2年度 スマートフォン所持率（加古川市ケータイ・スマホアンケート調査）

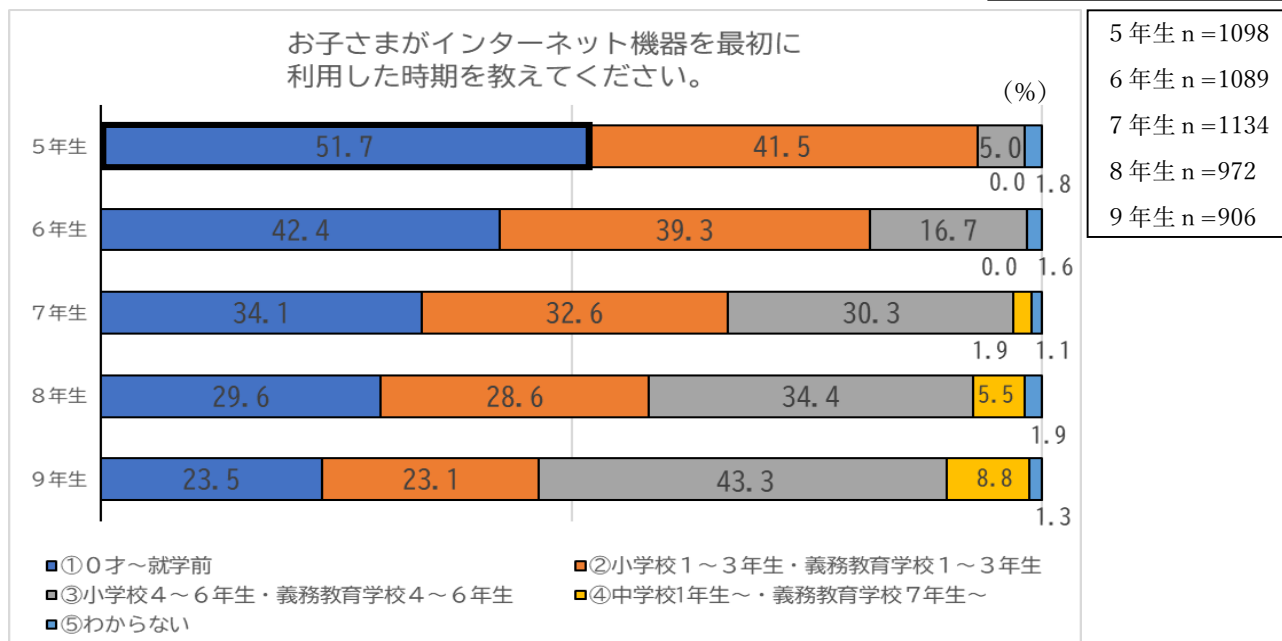
5年生：42.0% 6年生：46.4% 7年生：58.0% 8年生：70.8% 9年生：75.5%

令和4年度 スマートフォン所持率（加古川市ケータイ・スマホアンケート調査）

5年生：43.2% 6年生：46.5% 7年生：69.8% 8年生：71.7% 9年生：79.2%

(2) インターネット機器を使い始めた時期について

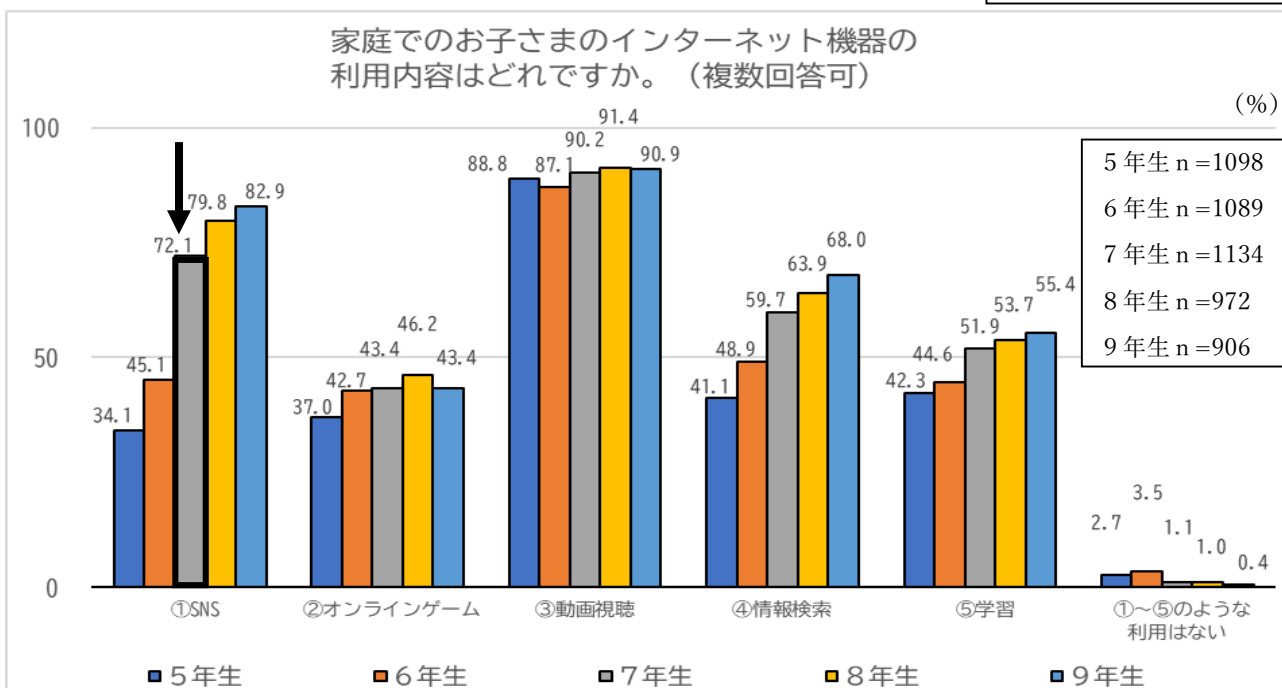
保護者用アンケート結果



- ・5年生では50%を超える児童が就学前からインターネット機器に触れ始めており、年々その割合が高くなっている。
- ・インターネット機器の利用開始時期は低年齢化が進んでいる。

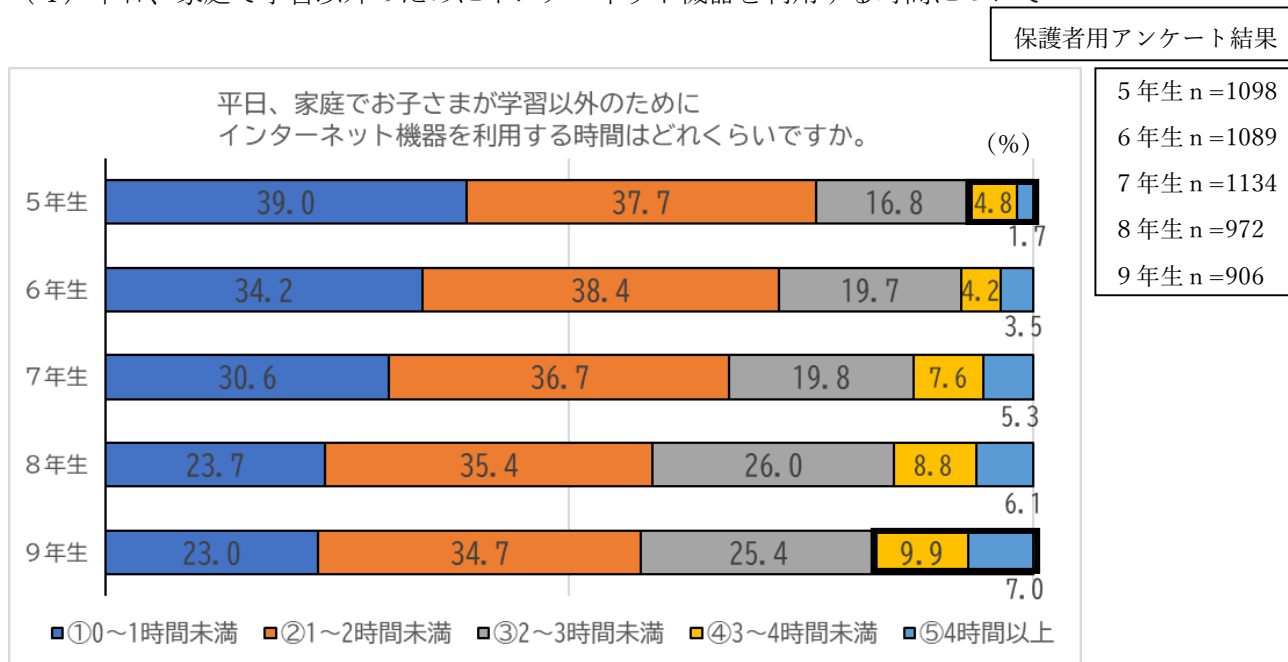
(3) 家庭での児童生徒のインターネット機器の利用内容について（複数回答）

保護者用アンケート結果



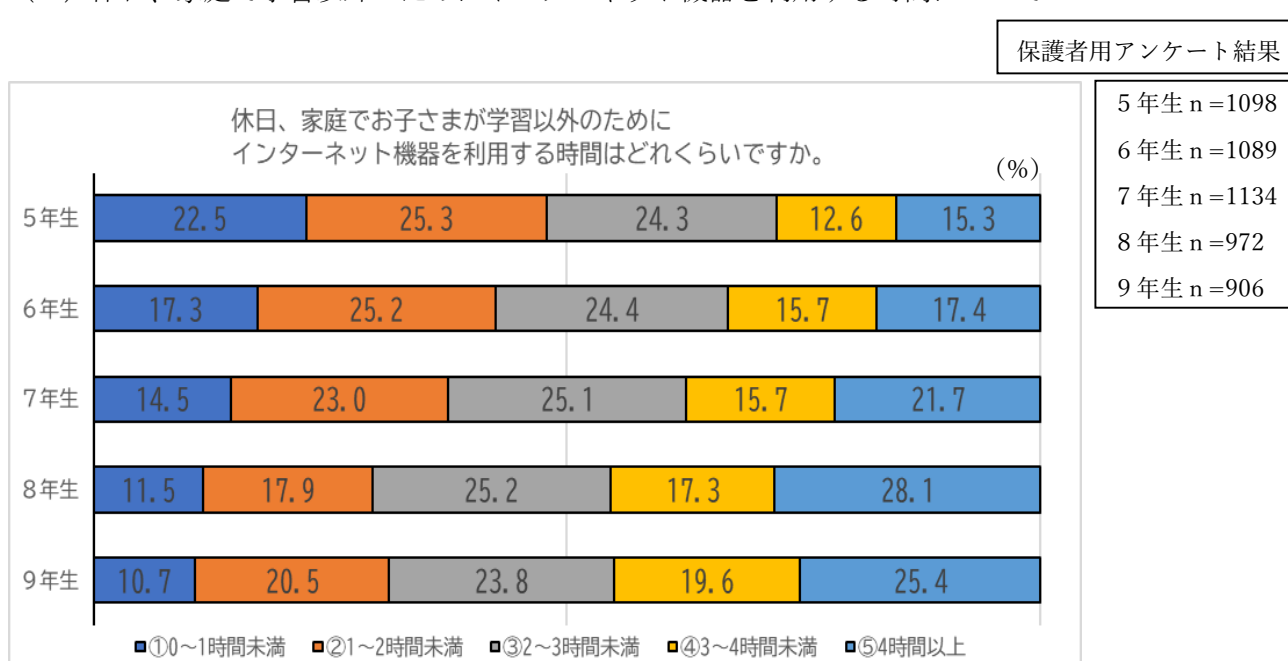
- ・どの学年も動画視聴の割合が一番高くなっている。
- ・SNSの利用割合は、2ページ「2 調査結果（1）児童生徒の主なインターネット機器の所持率について」に連動しており、7年生以降の割合が高くなっている。
- ・児童生徒はインターネット機器を学習にも利用しており、学年が上がるほど利用率が高くなる傾向にある。

(4) 平日、家庭で学習以外のためにインターネット機器を利用する時間について



- ・ 3時間以上利用している児童生徒の割合は5年生で6.5%、6年生で7.7%、7年生で12.9%、8年生で14.9%、9年生で16.9%となっている。
- ・ 3時間以上利用している児童生徒の割合は、学年が上がるほど高くなっており、5年生の6.5%に対して、9年生は16.9%と約2.5倍の開きがあった。

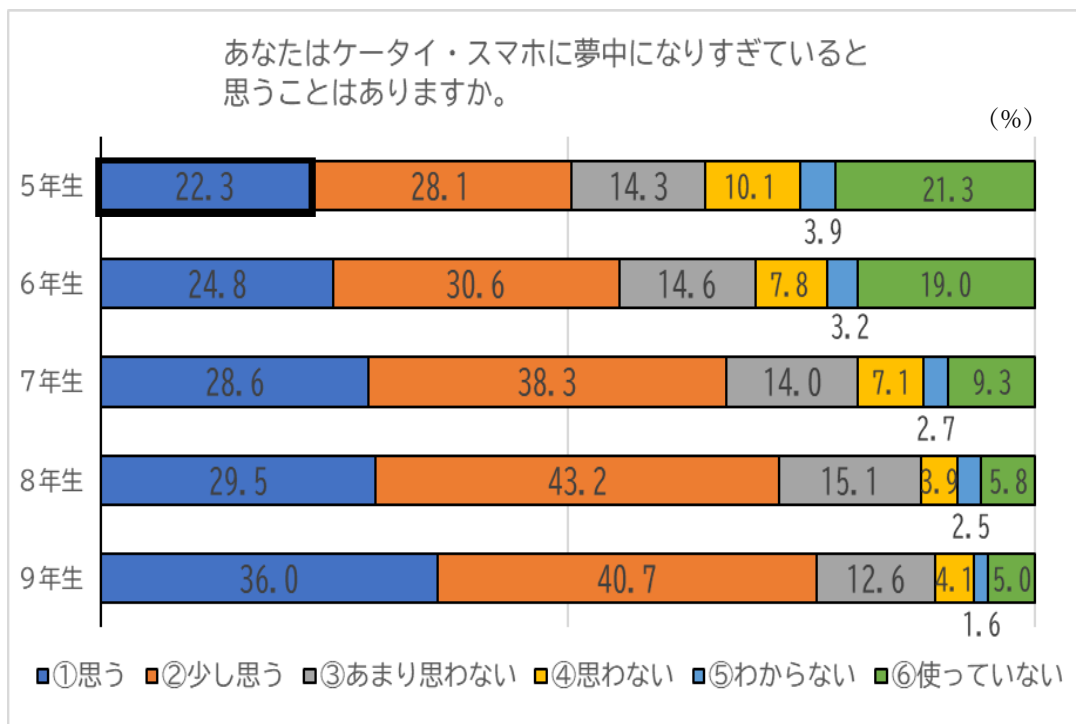
(5) 休日、家庭で学習以外のためにインターネット機器を利用する時間について



- ・ 3時間以上の利用割合は、5年生で27.9%、6年生で33.1%、7年生で37.4%、8年生で45.4%、9年生で45%となっており、平日に比べて増えている。
- ・ 4時間以上の利用割合は、平日に比べて全学年で大幅に増えている。

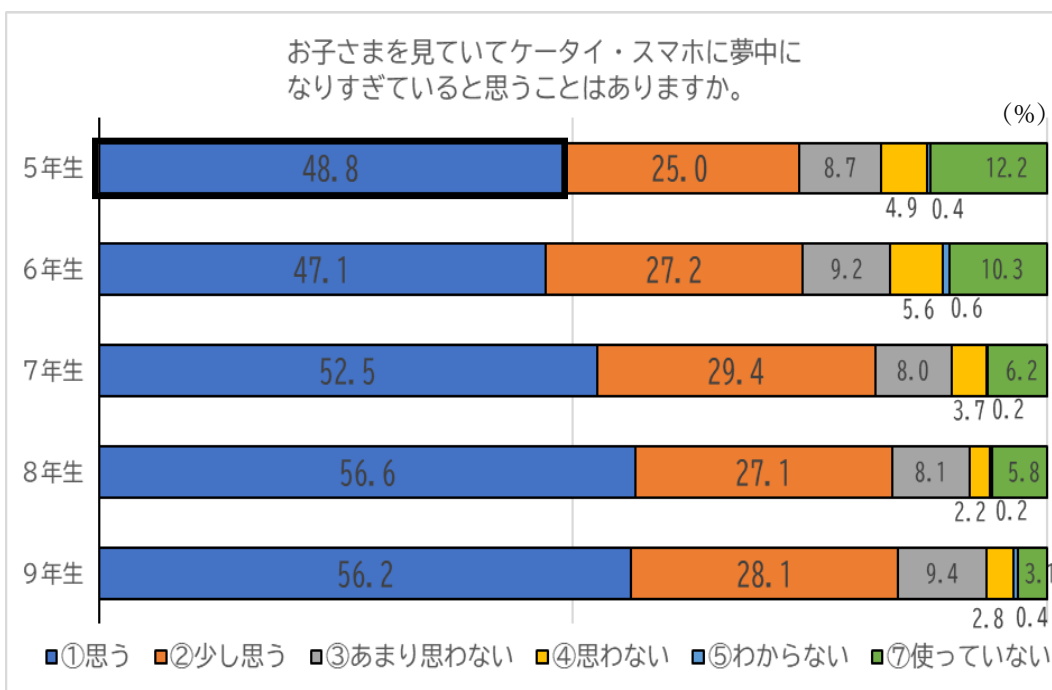
(6) ケータイ・スマホの夢中度について

児童生徒用アンケート結果



5年生 n=2021
6年生 n=2089
7年生 n=1643
8年生 n=1916
9年生 n=1968

保護者用アンケート結果

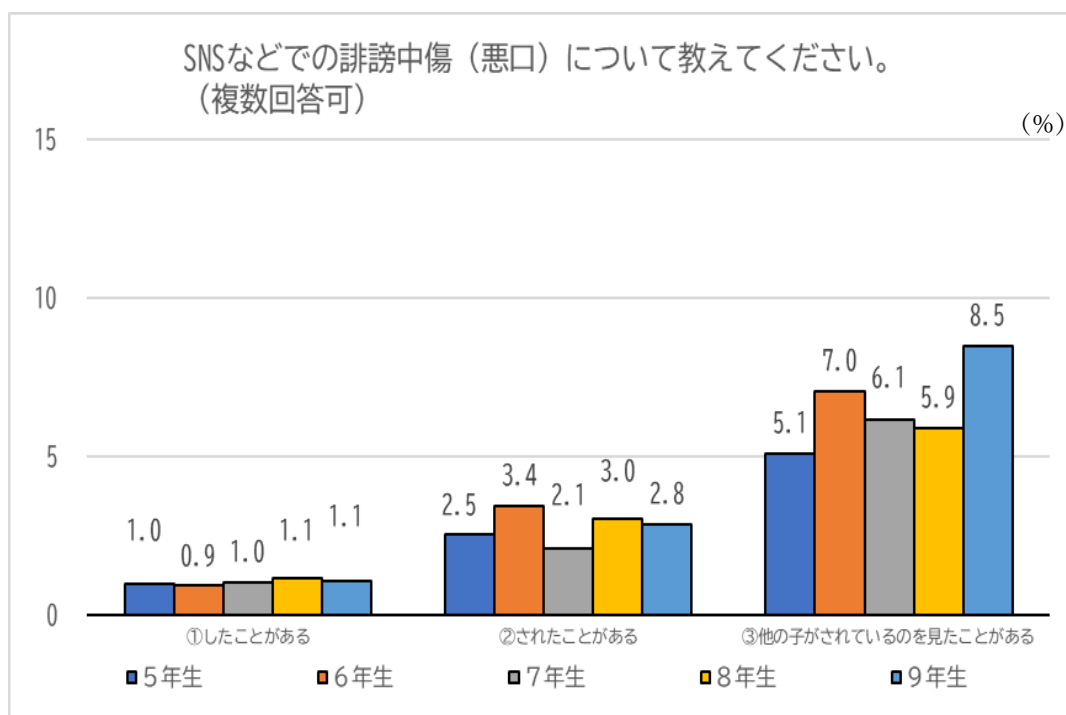


5年生 n=1098
6年生 n=1089
7年生 n=1134
8年生 n=972
9年生 n=906

- ・児童生徒用アンケートでは、「思う」「少し思う」と回答した割合は、5年生で50.4%、6年生で55.4%、7年生で66.9%、8年生で72.7%、9年生で76.7%となっている。
- ・保護者用アンケートでは、「思う」「少し思う」と回答した割合は、5年生で73.8%、6年生で74.3%、7年生で81.9%、8年生で83.7%、9年生で84.3%となっている。
- ・5年生においては、特に「思う」と答えた割合について、保護者と児童生徒の認識に倍以上の差がある。

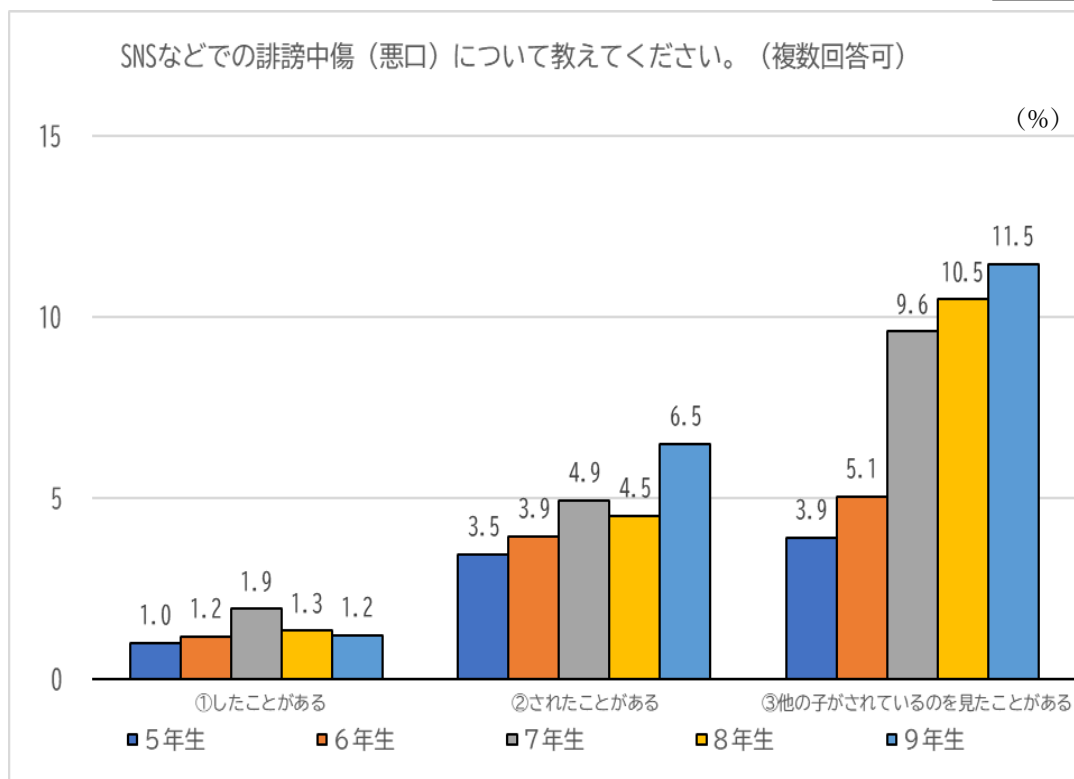
(7) インターネット環境での誹謗中傷（悪口）について（複数回答）

児童生徒用アンケート結果



5年生 n=2021
6年生 n=2089
7年生 n=1643
8年生 n=1916
9年生 n=1968

保護者用アンケート結果

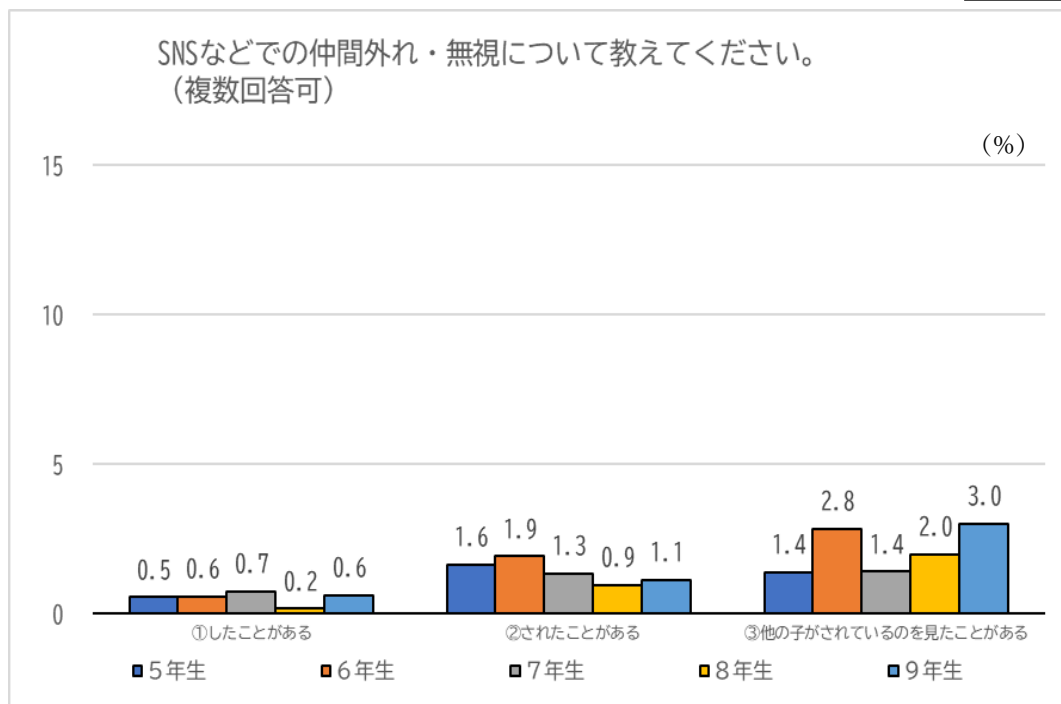


5年生 n=1098
6年生 n=1089
7年生 n=1134
8年生 n=972
9年生 n=906

- ・「他の子がされているのを見たことがある」と回答した5年生6年生の結果のみ保護者の回答が低い。
- ・誹謗中傷等をしたことがある人よりも、されたことがある人の方が倍以上いる。
- ・児童生徒より保護者は、SNSなどでの誹謗中傷（悪口）について意識していることが考えられる。

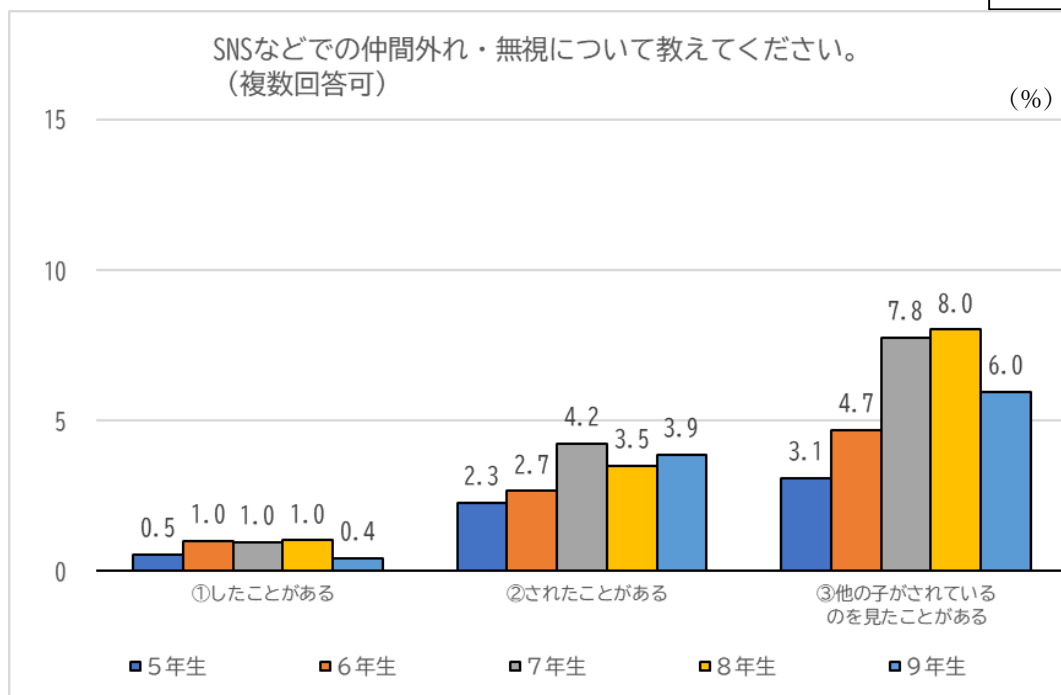
(8) インターネット環境での仲間外れ・無視について（複数回答）

児童生徒用アンケート結果



5年生 n=2021
6年生 n=2089
7年生 n=1643
8年生 n=1916
9年生 n=1968

保護者用アンケート結果

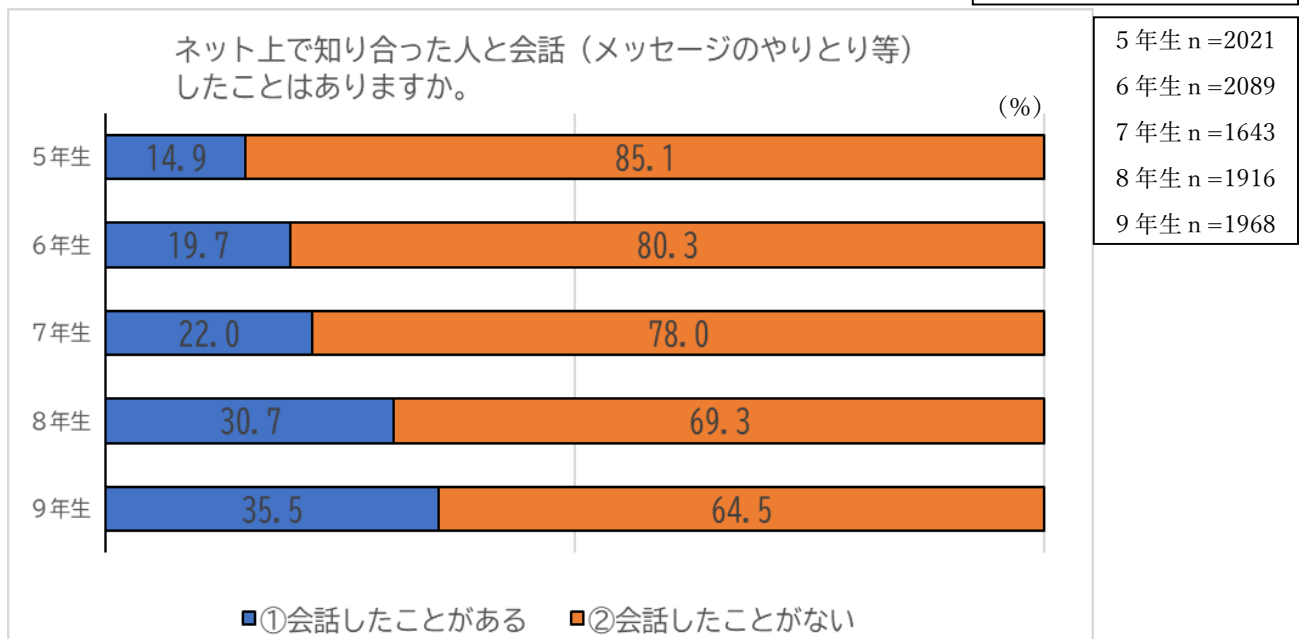


5年生 n=1098
6年生 n=1089
7年生 n=1134
8年生 n=972
9年生 n=906

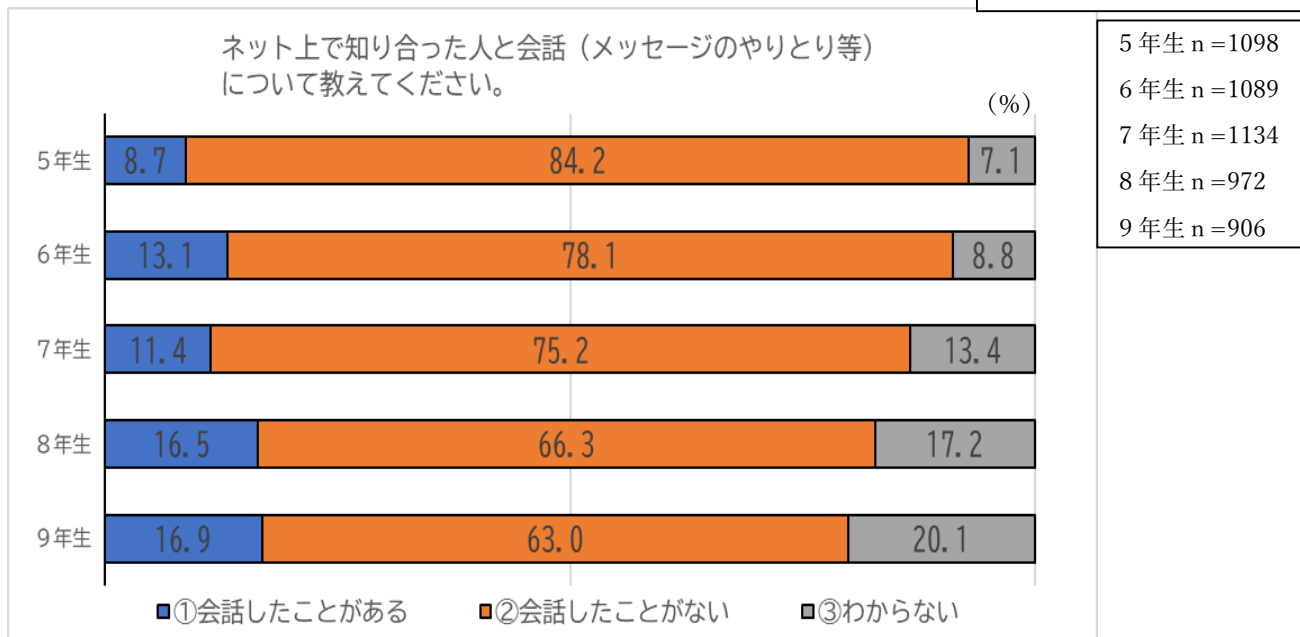
- ・仲間外れ・無視は、したことがある人より、されたことがある人の方が多い。
- ・全体的に保護者へのアンケート結果の数値が児童生徒へのアンケート結果の数値よりも高い。
- ・児童生徒より保護者は、SNSなどでの仲間外れ・無視について意識していることが考えられる。

(9) SNS での会話について

児童生徒用アンケート結果



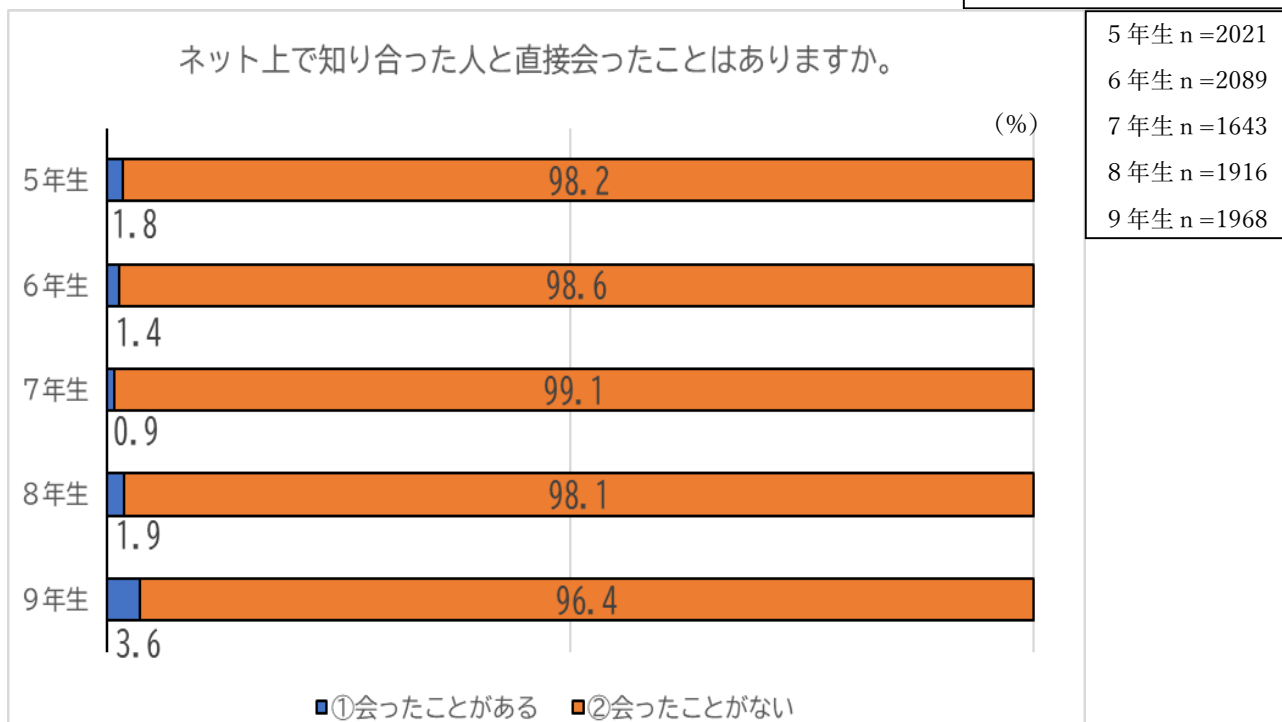
保護者用アンケート結果



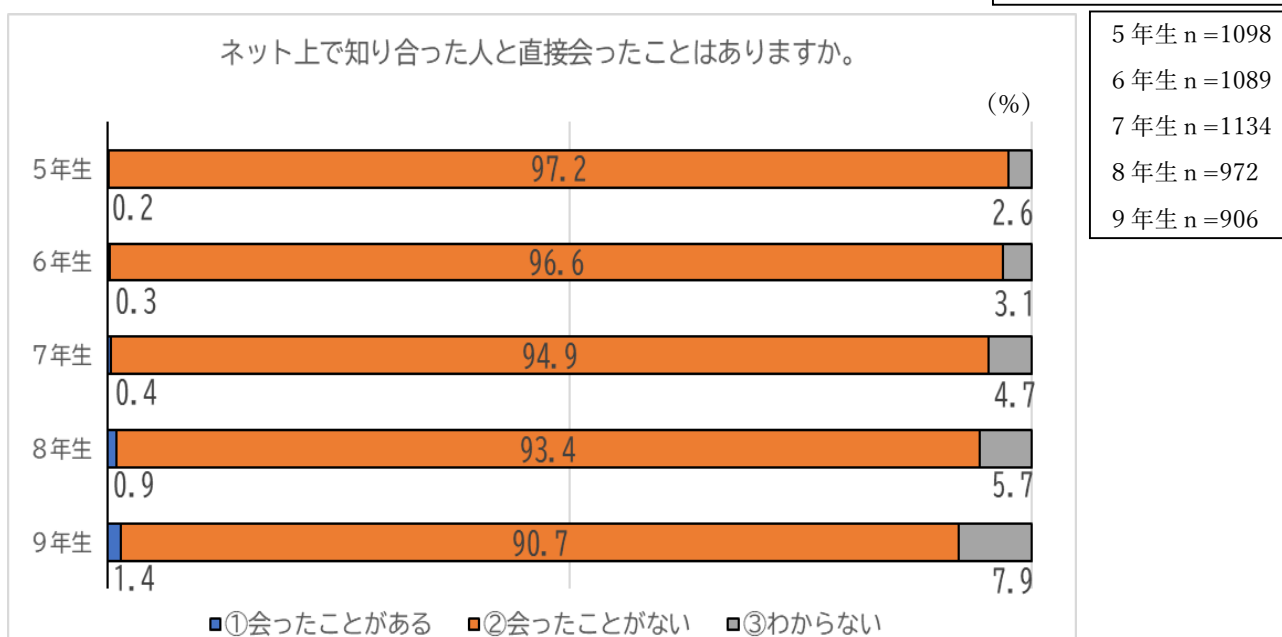
- ・SNS 上での会話は5年生から経験している児童が14.9%であり、9年生になると、その割合が35.5%となっている。
- ・「SNS で知り合った人と会話したことがある」と回答した児童生徒はどの学年も見られ、児童生徒と保護者の回答を比べると、保護者の認知以上に児童生徒はネット上で知り合った人と会話をしている。
- ・児童生徒用アンケート結果より、「会話したことがある」の割合は、学年が上がるごとに増加している。
- ・「会話したことがある」の割合は、児童生徒の学年が上がるにつれ保護者が把握していない割合が増加している。

(10) SNS での出会いについて

児童生徒用アンケート結果



保護者用アンケート結果

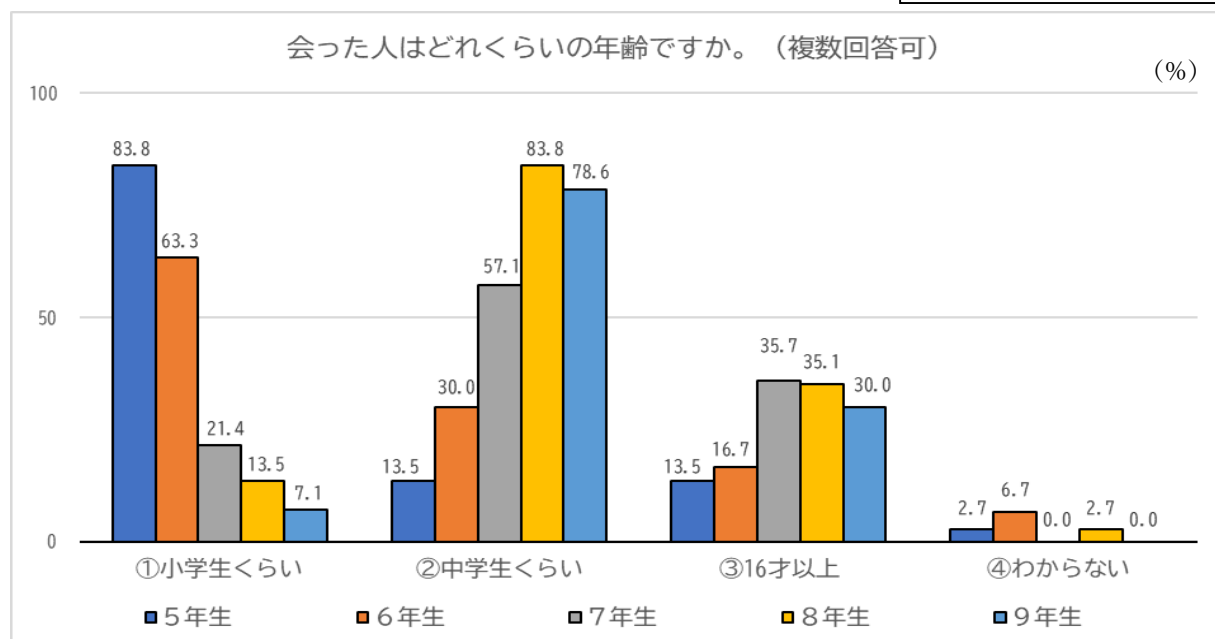


- ・児童生徒と保護者を比べると、保護者の認知以上に児童生徒はネット上で知り合った人と直接会ったことがある。
- ・5年生では1.8%の37人、9年生では3.6%の70人がネット上で知り合った人と直接会ったことがある。
- ・5年生からネット上で知り合った人と直接会ったことがあり、そのことを保護者が把握していない。
- ・児童生徒の年齢が上がるにつれて保護者が把握していない割合が増加している。

(11) SNS での出会いについて ((10) において直接会ったことがあると回答した人のみ回答)

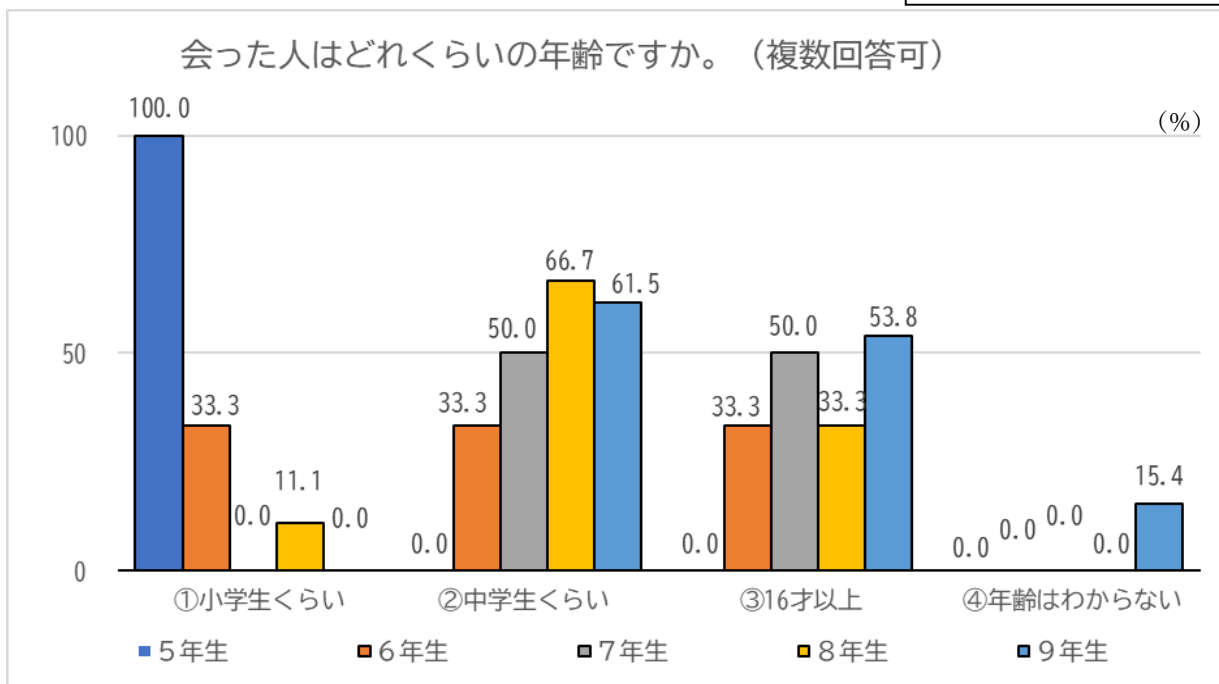
学年	5 年生児童	6 年生児童	7 年生生徒	8 年生生徒	9 年生生徒
回答人数 (人)	37	30	14	37	70

児童生徒用アンケート結果



	5 年生保護者	6 年生保護者	7 年生保護者	8 年生保護者	9 年生保護者
回答人数 (人)	2	3	4	9	13

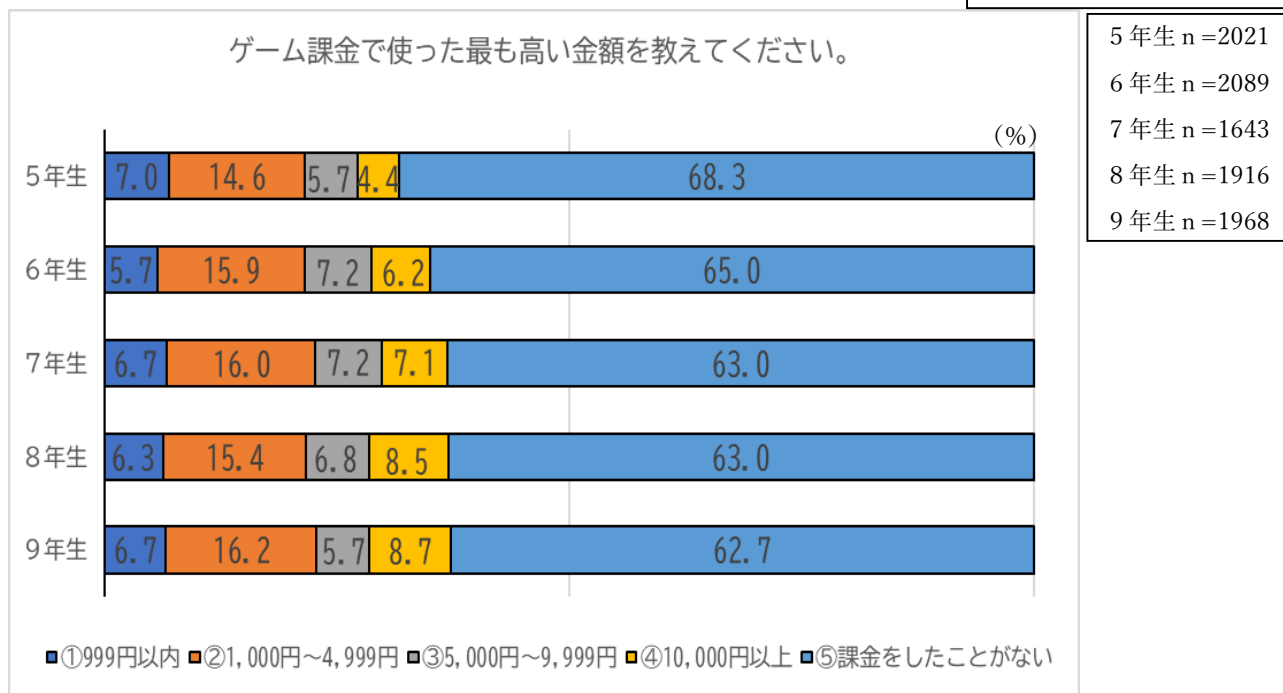
保護者用アンケート結果



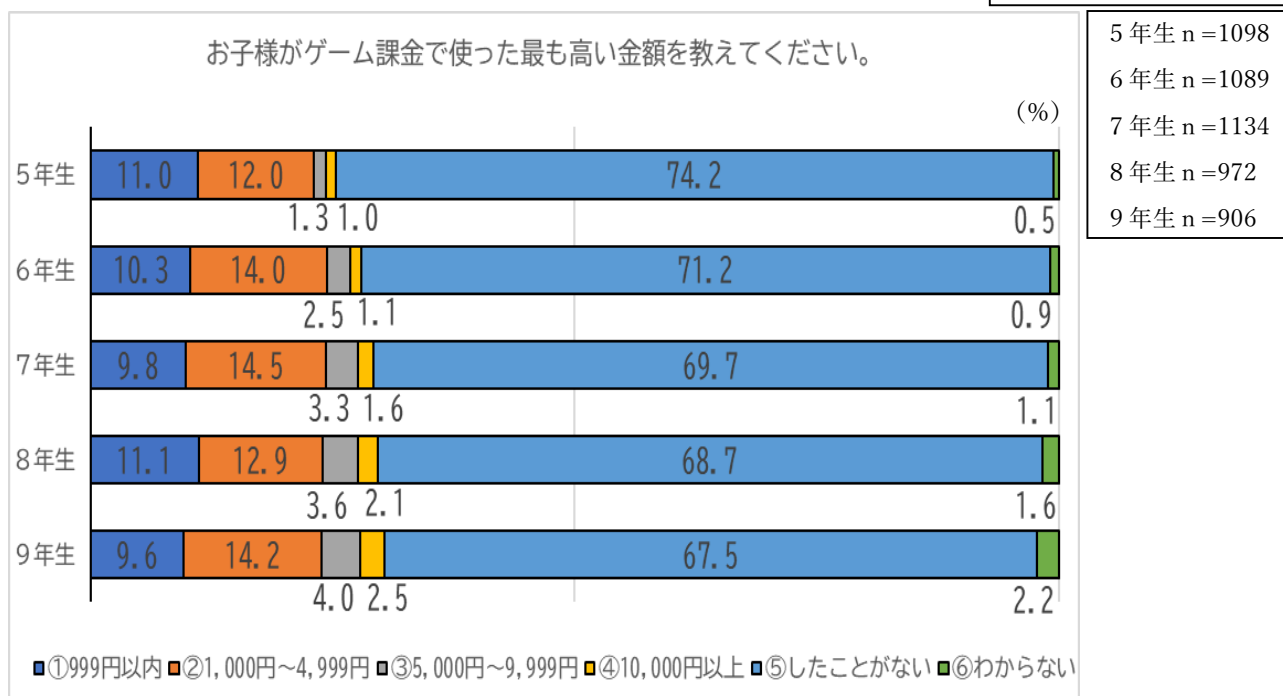
- ・保護者用アンケートでは5年生は小学生くらいとしか会っていないとの認識であるが、児童生徒用アンケートからは、5年生が16歳以上の人と出会っている可能性がある。
- ・児童生徒が大人と出会っている可能性がある。

(12) ゲーム課金について

児童生徒用アンケート結果



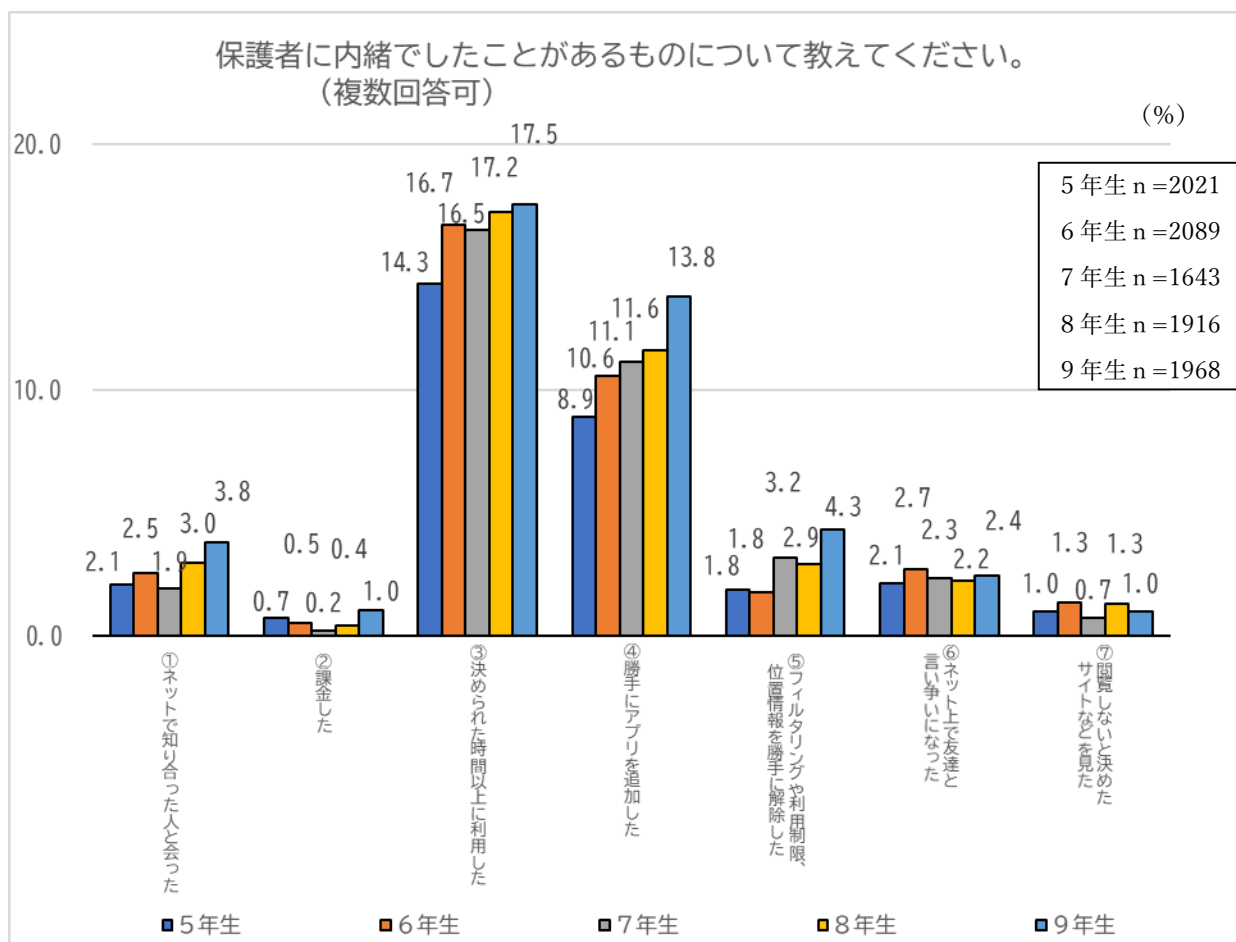
保護者用アンケート結果



- ・児童生徒の回答から、課金をしたことがある割合は、5年生で31.7%、6年生で35.0%、7年生で37.0%、8年生で37.0%、9年生で37.3%となっており、全学年で30%を超える児童生徒が課金したことがある。

(13) 保護者に内緒でしたこと（複数回答）

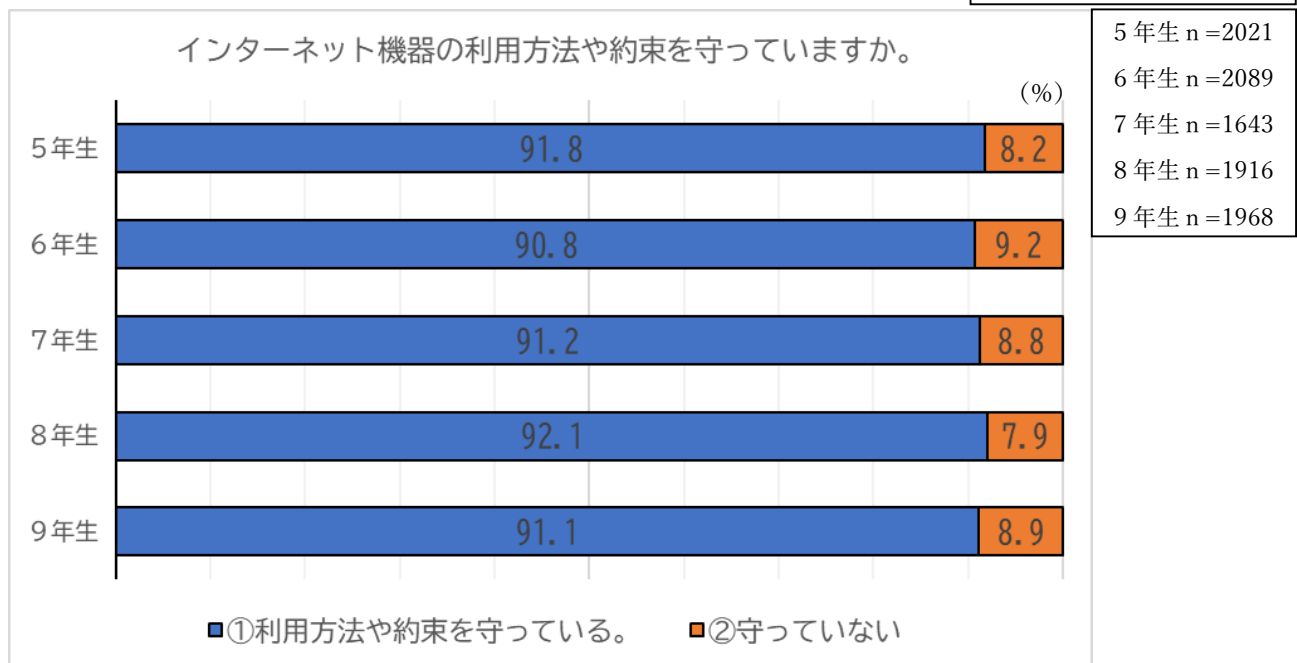
児童生徒用アンケート結果



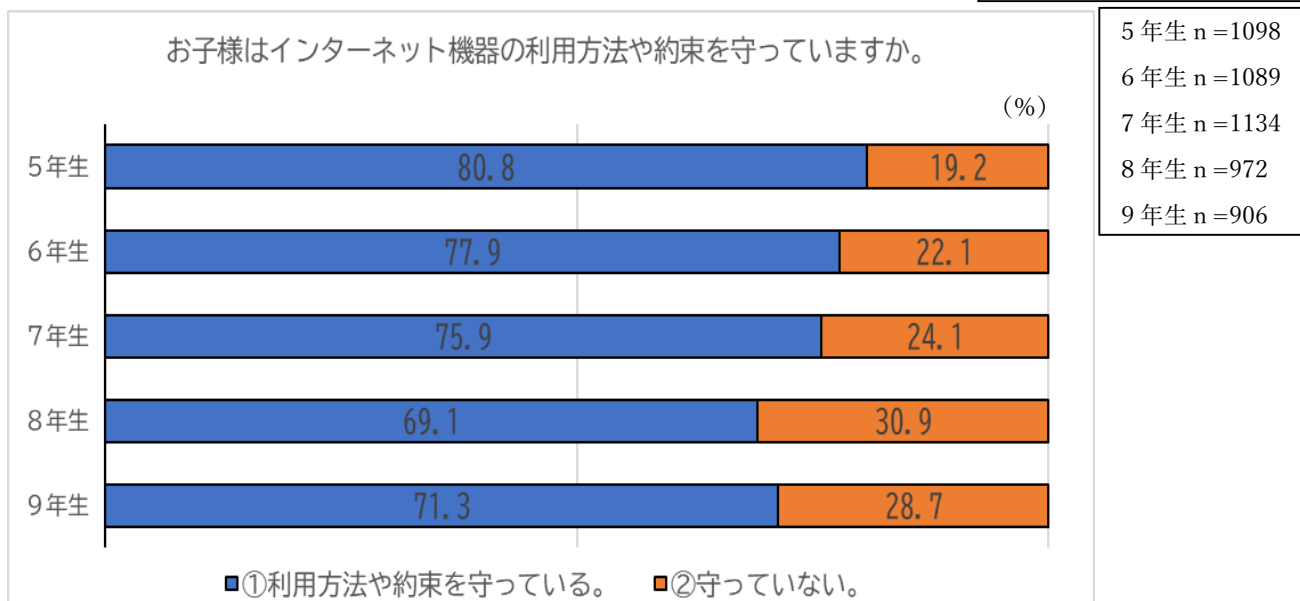
- ・「決められた時間以上に利用した」次いで「勝手にアプリを追加した」と回答した児童生徒の割合が多くなっている。
- ・「ネットで知り合った人と会ったことがある」の回答割合は、9ページの「2 調査結果 (10) SNS での出会いについて」の回答と近似しており、その多くが保護者の知らないところで会っていることが考えられる。

(14) インターネット機器の利用方法や約束について

児童生徒用アンケート結果



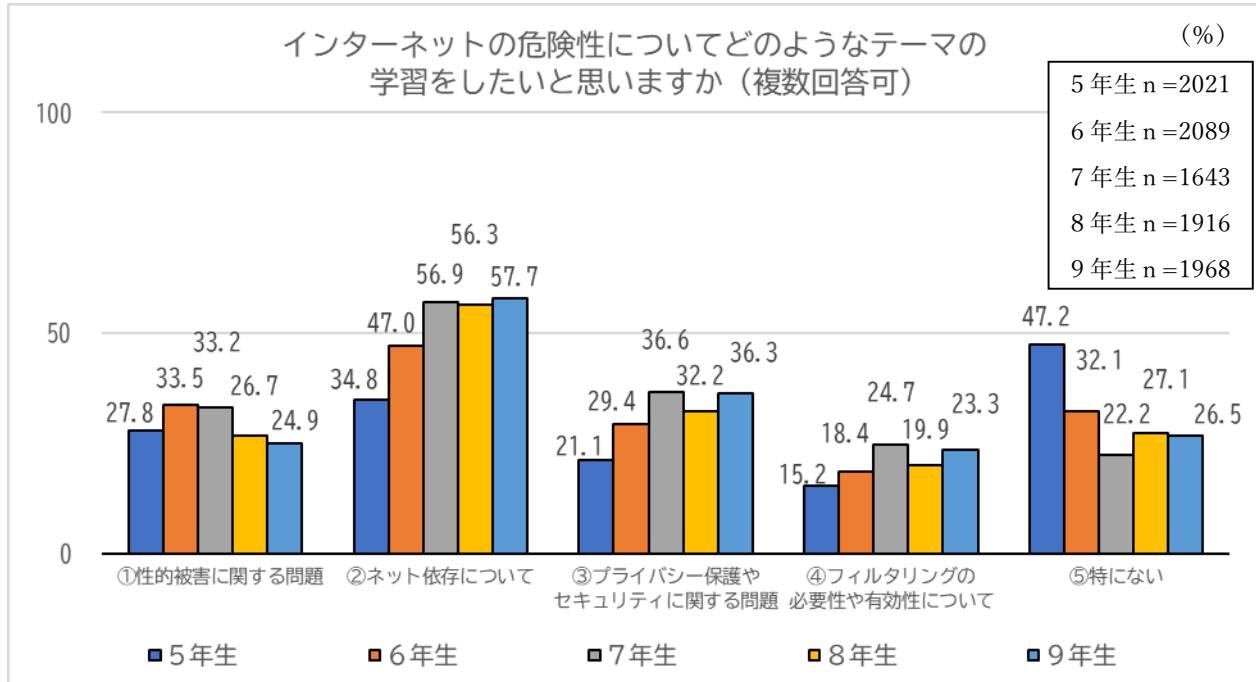
保護者用アンケート結果



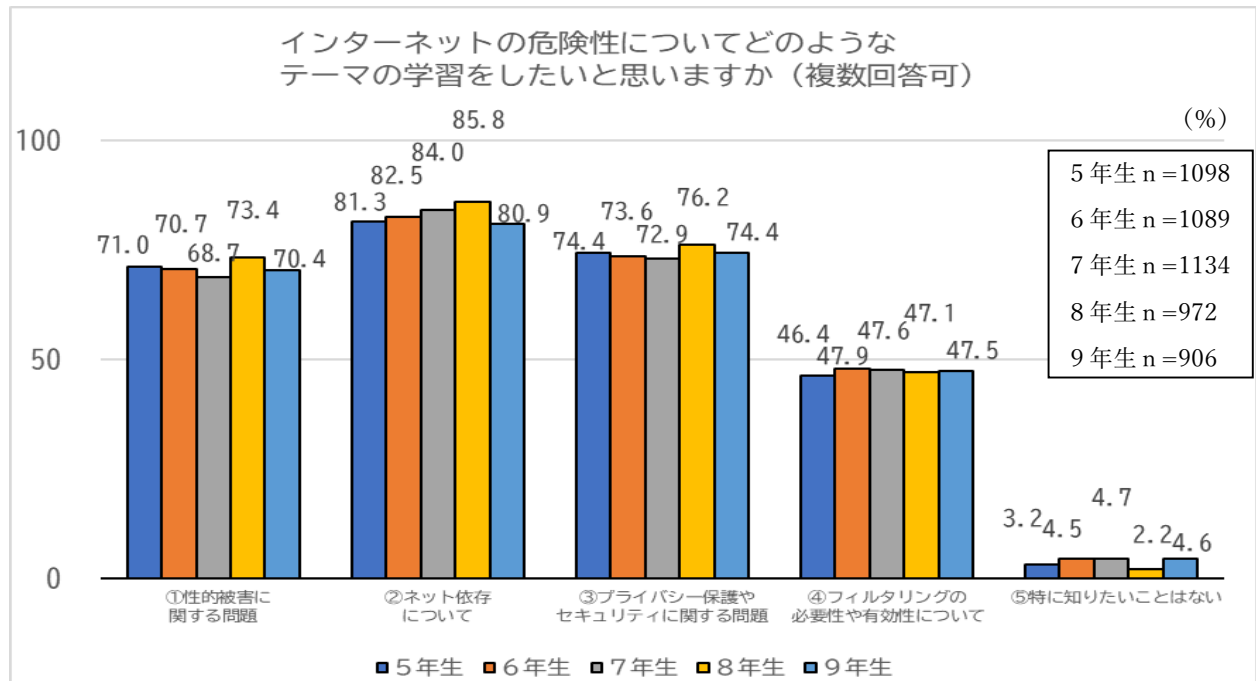
- ・「利用方法や約束を守っている」と回答した児童生徒は、全学年で90%以上と高いが、保護者の認識は児童生徒の認識を下回っている。

(15) 学習したいテーマについて（複数回答）

児童生徒用アンケート結果



保護者用アンケート結果



- ・児童生徒及び保護者とも、どの学年も「ネット依存について」の割合が高くなっている。
- ・「特にな」の割合は、児童生徒と保護者とでは大きな差がある。
- ・5年生は、「特にな」の回答が多いことから危険性について認識が浅い可能性がある。
- ・保護者はインターネットの危険性は認識しており、様々な危険性を知りながらもケータイ・スマホを児童生徒に利用させている。

3 まとめ

本調査で、児童生徒のインターネット機器の利用開始時期の低年齢化とともに、インターネット機器の所持も低年齢化が顕著になり、就学時からの情報モラル教育の重要性が高まっていることが分かった。

特に、進学に合わせてスマートフォンの所持率が高くなり、今回初めて7年生で7割を超える結果となった。所持率の増加に伴い、SNSトラブル、ネット・ゲーム依存、金銭トラブル・性被害等の危険性は今後さらに増加することが考えられる。

また、「平日と休日のインターネット機器の利用時間についての調査」では、生徒の場合は、平日概ね3時間未満の利用、児童の場合は、平日概ね2時間未満の利用が多かった。しかし、平日に4時間以上利用している児童生徒がいることや、平日に比べ、休日の利用時間が長いことに加え、「ケータイ・スマホの夢中度の調査」において、夢中になりすぎていると自覚している児童生徒の割合は年齢が上がるにつれ増加傾向にあることから、家庭でのルール作りや、ペアレンタルコントロール^{※1}が重要であると言える。

SNSトラブルについては、特にネット上で知り合った人と会話し経験がある児童生徒が各学年に多数いることが分かった。児童生徒がスマートフォンを使用している実態について、保護者が把握しきれていない現状が見受けられる。児童生徒が知らない人とSNS上で出会うことで、SNSを通じた性被害にあう危険性や、SNS詐欺にあう危険性が増す。そういった危険性から身を守るために、児童生徒のネットリテラシーを高める必要がある。

加えて、「インターネット機器の利用方法や約束を守っていない」と回答した児童生徒の割合は、どの学年においても1割程度だが、保護者は2割から3割が約束を守っていないと回答している。このことから、保護者が守ってほしいと考える利用方法や約束と、児童生徒が理解している利用方法と約束に大きくずれがあることが分かる。保護者と児童生徒の意識のずれを解消するには、家庭においてインターネット機器の利用方法や約束について定期的に話し合いながら決めることが必要と考える。

総務省^{※2}「上手にネットと付き合おう！～安心安全なインターネット利用ガイド～」では、ルール作りに関して、「年齢を問わず、約束は話し合いながら一緒に作ること。窮屈になったら守らないのではなく、話し合って再調整を繰り返しながら、自己管理できる大人を目指しましょう。」と、書かれていることから、保護者と児童生徒が話し合いのもと、ルールを決めることが重要である。

インターネット機器の利用開始時期の低年齢化に伴い、情報モラル教育も「低学年から発達段階に応じて」実施することも大切であり、同様に保護者に対しても家庭での約束づくりとペアレンタルコントロールの必要性を周知し、児童生徒がインターネット機器とうまく付き合える方法を学校、家庭と連携して考えていくことが大切であると考ええる。

※1ペアレンタルコントロール

子どもによるパソコンや携帯電話・スマートフォンやゲーム機などの情報通信機器の利用を親が監視して制限する取組

※2総務省（2024）

「上手にネットと付き合おう！～安心安全なインターネット利用ガイド～ インターネットトラブル事例集 年齢に合わせたツールの使い方の設定はどのようにすればよいでしょう？」

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/reference/reference03.html